3) gitlabとの接続設定

https://qiita.com/ksj555/items/688e8219677d53ef8aa1

①gitlabへアクセスして新規プロジェクトを作成する

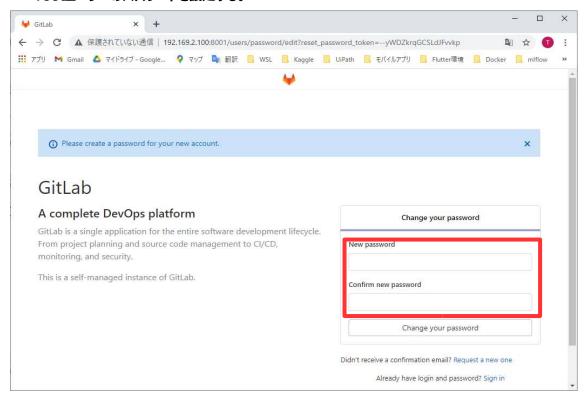
i) Dockerコンテナのgitlabサービスを起動して、プロセスを確認する。

ii)上記赤文字のPortとgitlabが起動している端末のIPアドレスを参考に、 ブラウザにURLを入力する。

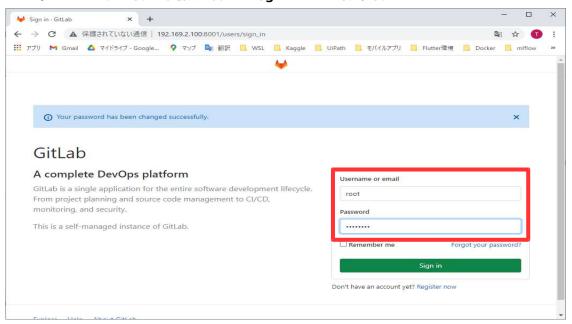
例)

Http://192.169.2.100:8001/

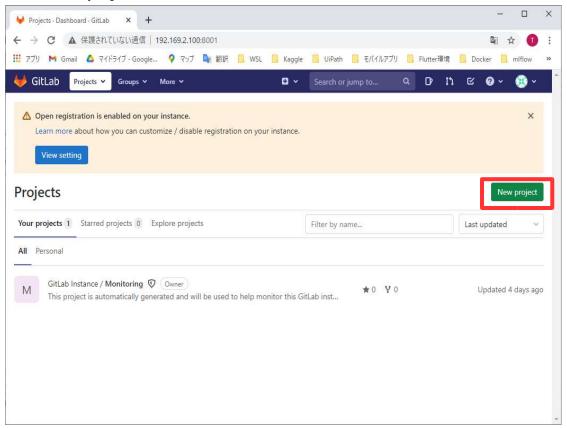
rootユーザーのパスワードを設定する。



iii) rootユーザーで、先ほど設定したPWでgitlabにログインする。



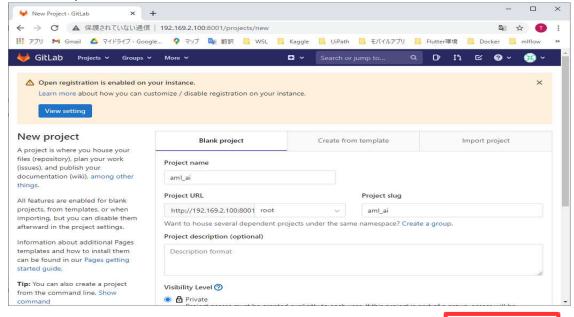
iv)新規プロジェクトの作成する。 New projectをクリック



v) 各項目を入力し、「Create project」ボタンを押す。

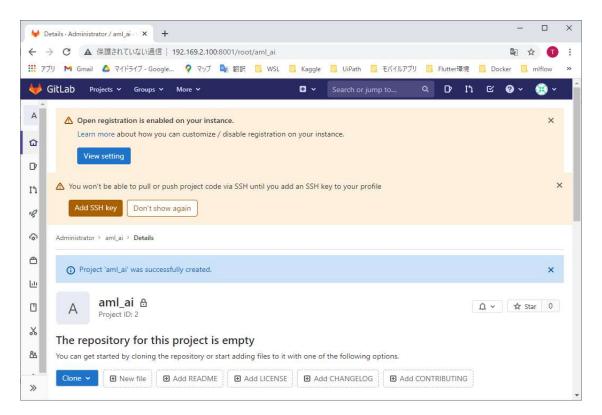
Project name: aml ai を入力

Visibility Level: Private を選択(デフォルト)



下にボタンがある

vi)SSH鍵の設定を要求されるが、プロジェクトは作成完了。



②Git (クライアント) のインストール

【参考】 Visual Studio Code (VS Code) とGitLabを連携させる

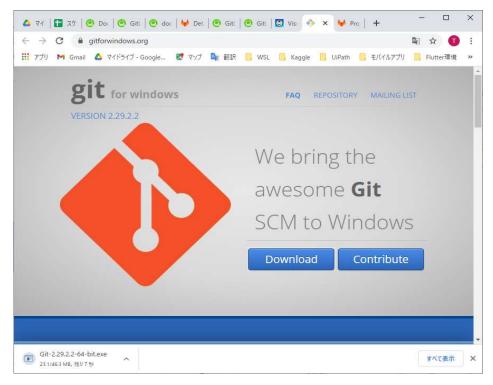
https://create-fecundity.com/programming/visual-studio-code-gitlab-introduction/#toc1

【参考】 私家版 Git For Windowsのインストール手順

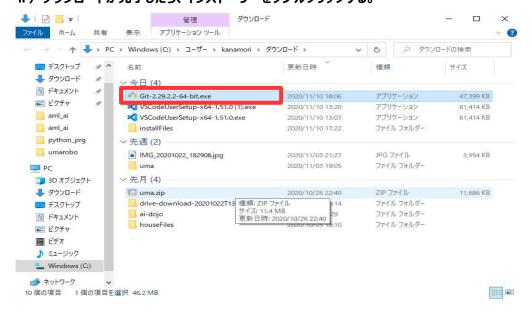
https://opcdiary.net/technical/programming/%E7%A7%81%E5%AE%B6%E7%89%88-

i) Git for Windowsのページから、Gitのインストーラーをダウンロードする。

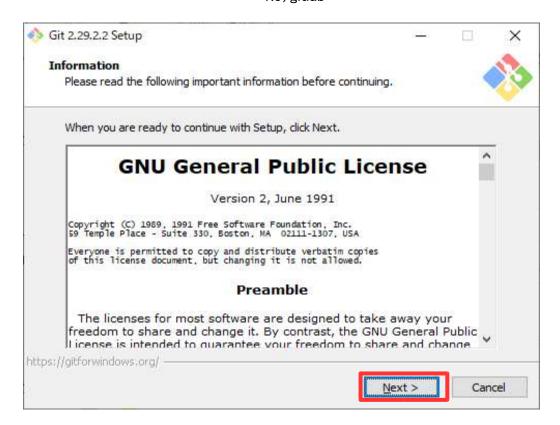
git for windows → https://gitforwindows.org/



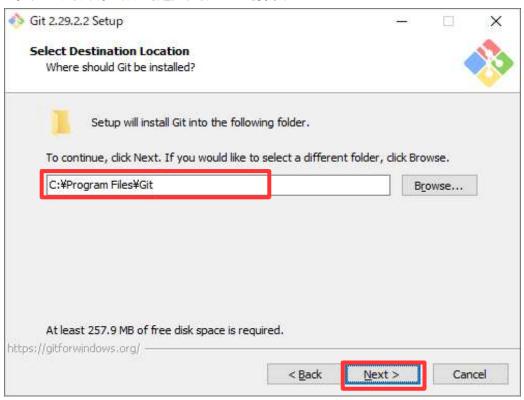
ii)ダウンロードが完了したら、インストーラーをダブルクリックする。



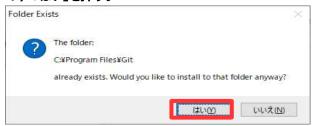
iii) Nextを押す。



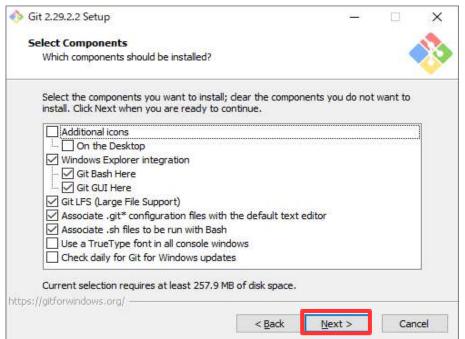
iv) 任意のインストール先を選択して、Nextを押す。



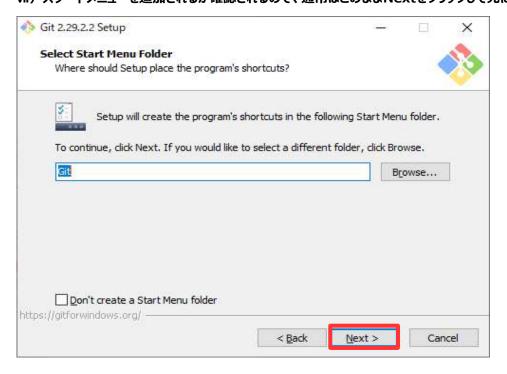
v)「はい」を押す。



vi)インストールするコンポーネントを選択して、「Next」を押す。(ここではデフォルトのまま)



vii)スタートメニューを追加されるか確認されるので、通常はこのままNextをクリックして先に進む。

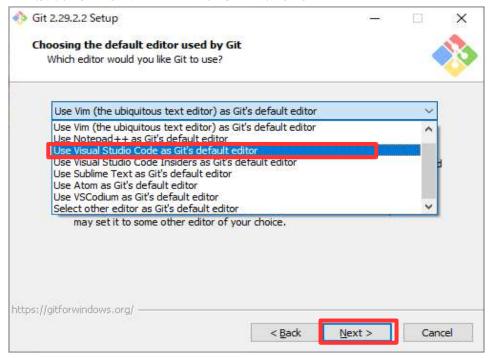


viii) Gitで使用するデフォルトのエディターを選択できる。

『Use Visual Studio Code as Git'sDefault editer』を選択する。

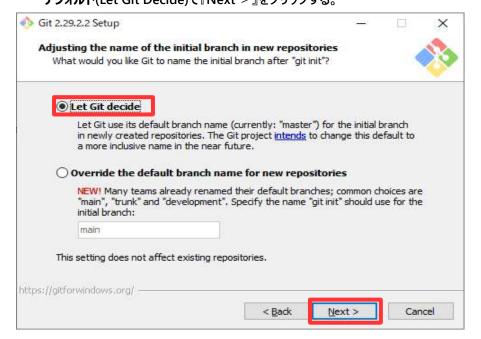
Gitをコマンドプロンプトから使用できるようにする。

こうしておくと、VS Code内で「Ctrl + @」のショートカットキーでコマンドプロンプトとソースコードの切り替えることで、すぐにGitコマンドを打つことができる。



ix) Git initで最初に作成されるブランチ名を選択

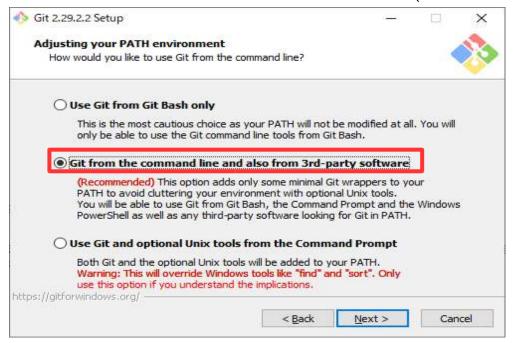
- Let Git decide: 従来通り最初に作られるブランチは「master」となります。
- Override the default branch name for new repositories: 下のテキストボックスに 指定したブランチ名がgit initコマンドで最初に作られるブランチ名となります。 GitHubの仕様変更にあわせて最初のブランチを「main」にしたい場合にはここで設定しておく。 デフォルト(Let Git Decide)で『Next >』をクリックする。



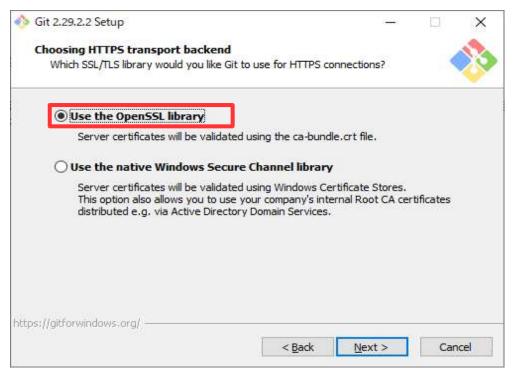
x) ここは環境変数pathに何を追加するかを選択します。

デフォルトの選択項目で次に進む。

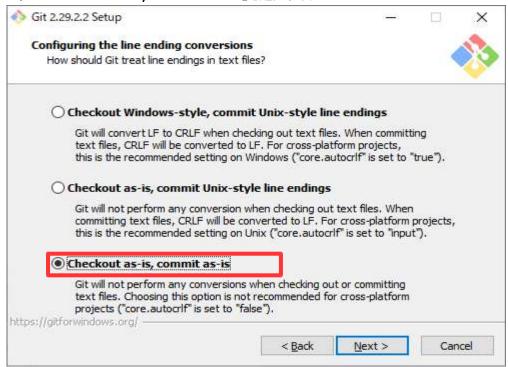
コマンドプロンプトやPowerShellからはGitのコマンドだけが使用できます。(これがデフォルトの設定)



xi)「Use the OpenSSL library」を選択する。



xii)「Checkout as-is, commit as-is」を選択する。

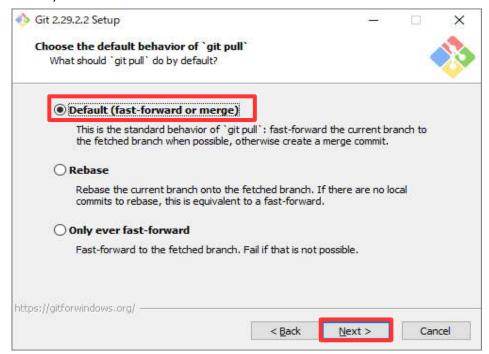


x iii)「Use Min TTY(the default terminal of Msys2)」を選択する。



x iv)「Default(fast-foward or merge)」を選択する。

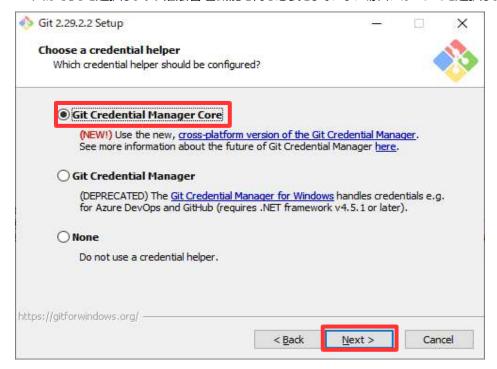
git pullの方法について設定します。通常はDefaultのままでかまいません。 Rebaseを標準としたい場合にはRebaseをfast-forwardのみをデフォルトにしたい場合には Only ever fast-forwardを選択します。



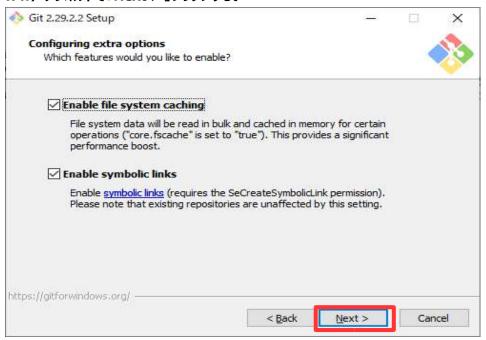
x v)「Git Credential Managre Core)」を選択する。

Git credential managerのセットアップを選択します。

通常は更新される予定のGitHubへのサインインに対応しているGit Credential Manager Core を選択します。何らかの理由で旧バージョン(サポート終了)のGit Credential Managerが必要な人はそちらを選択します。権限管理機能を何も必要としていない場合にはNoneを選択します。

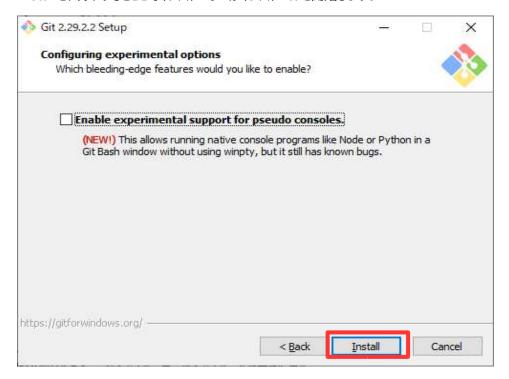


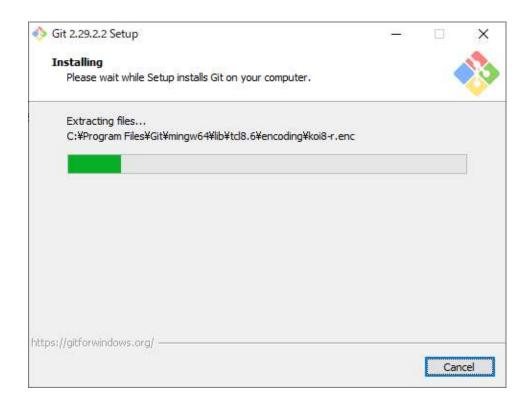
x vi) デフォルトで「Next > 」クリックする。



x vii) デフォルトで「Install」クリックする。

Installをクリックするとここでインストーラーがインストールを開始します。





finishi!!



③Git グローバルの設定

i) Windowsマーク隣でGitBashを検索し、Enterを押してGit bashを起動します。



user.nameにはご自身の姓名をローマ字で、

user.emailには普段使用するメールアドレスを使用します。

- \$ git config --global user.name "Mei Sei"
- \$ git config --global user.email "hoge@email.com"
- \$ git config --global core.quotepath false

上の内容が、環境変数homeで設定されたディレクトリの.gitconfigファイルに保存されます。

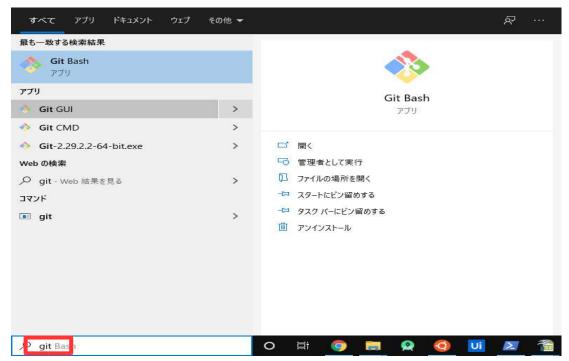
Git GUIで文字化け等あるようでしたら以下の設定も追加してください。

git config --global gui.encoding utf-8

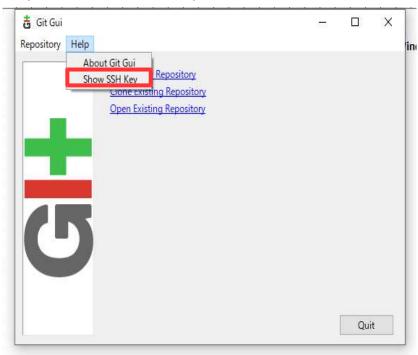


④SSHキーの作成

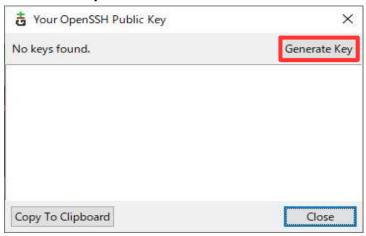
Windowsマーク隣でGit GUIを検索し、Enterを押してGit GUIを起動します。



Helpメニューの『Show SSH Key』を選択します。

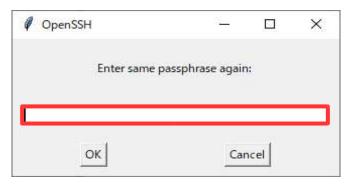


Generate Keyをクリックします。



passprase(password)の入力が促されるので、入力します。 再度聞かれるので、同じpassprase(password)を入力します。

→今回はパスフレーズをブランクで「Cancel」を押してしまった。。。



なにやら、公開鍵は既に作成されている様子。以下、GitBashで表示された情報。

iguchi@DESKTOP-758GGGP MINGW64 ~/.ssh

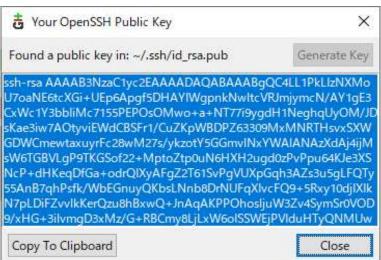
\$ pwd

/c/Users/xxxxx/.ssh

iguchi@DESKTOP-758GGGP MINGW64 ~/.ssh

\$ cat id_rsa.pub

ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAADAQABAAABgQC4LL1PkLIzNXMoU7oaNE6tcXGi+UEp6Apgf5



⑤OpenSSHのインストール

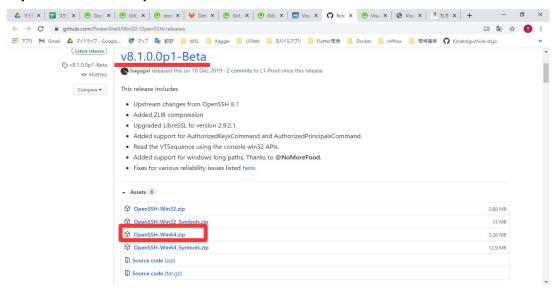
https://create-fecundity.com/programming/visual-studio-code-gitlab-introduction/#toc1

i) OpenSSHのzipファイルをダウンロード

Win32-OpenSSHのダウンロードページからZipファイルをダウンロードする。

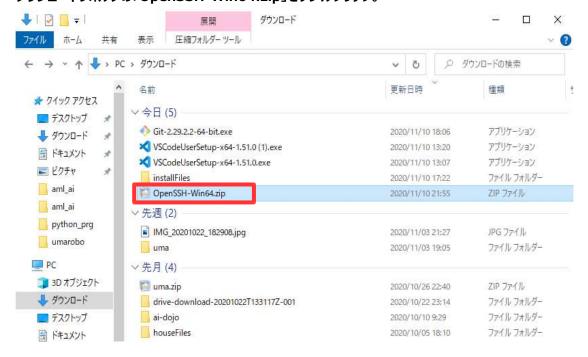
https://github.com/PowerShell/Win32-OpenSSH/releases

v8.1.0.0p1-Beta OpenSSH-Win64.zip をダウンロード



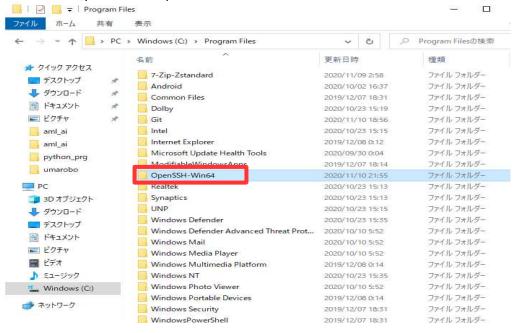
ii) OpenSSHのzipファイルをインストール

ダウンロードフォルダの「OpenSSH-Win64.zip」をダブルクリック。



OpenSSH-Win64.zip を展開して以下のフォルダー階層で配置します。

C:\Program Files\OpenSSH-Win64



iii)環境変数の設定

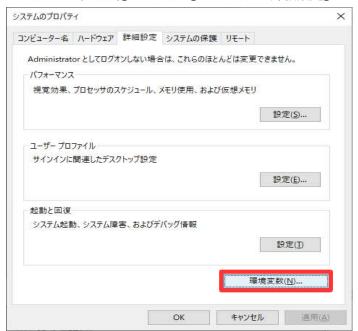
Windowsのシステムの環境変数へ以下の2つの値を設定します。

	変数	値
1	PATH	C:¥Program Files¥OpenSSH-Win64
2	GIT_SSH	C:¥Program Files¥OpenSSH-Win64¥ssh.exe

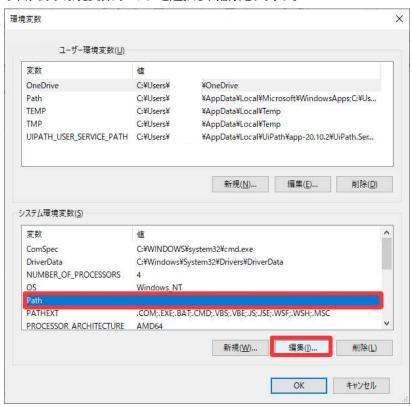
※PATHは既存の値に追記してください

コントロールパネルを開き、

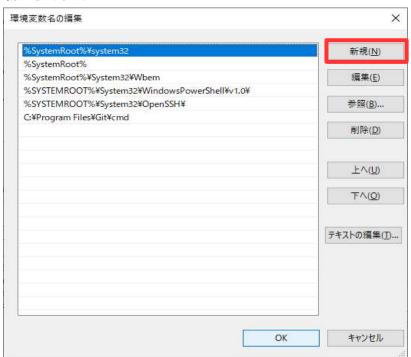
「システムとセキュリティ」→「システム」→「システムの詳細設定」→「環境変数」を選択する。



システム環境変数に1つ目の変数「Path」を追加する。 システムの環境変数のPathを選択し、編集をクリック。

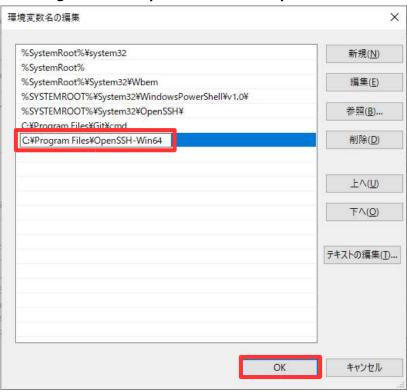


新規をクリック。

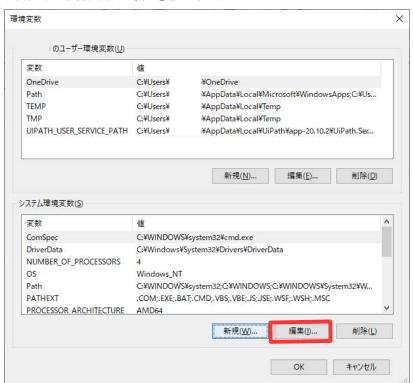


1.3) gitlab

「C:\Program Files\OpenSSH-Win64:\OpenSSH」を追加する。

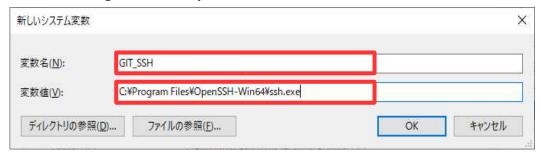


次にシステム環境変数に、2つ目の変数を新しく作成する。 システムの環境変数の「新規」をクリック。

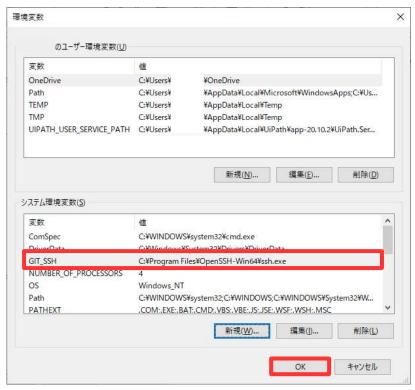


変数名「GIT_SSH」、

変数値「C:¥Program Files¥OpenSSH-Win64¥ssh.exe」を追加する。



追加されたことを確認し、OKをクリック。



⑥Gitの設定

コマンドプロンプト、もしくはPowerShellを立ち上げる。

GitLabに登録したときのユーザー名とメールアドレスを設定するために、以下のコマンドを入力する。

git config --global user.name "Administrator" git config --global user.email "admin@example.com"

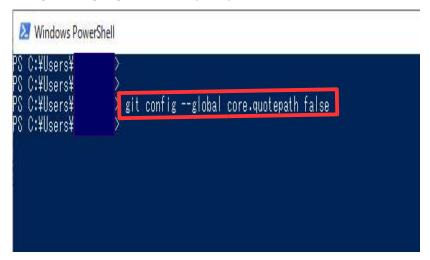
```
Windows PowerShell

PS C:\(\text{Users\(\text{Y}\)} \)

PS C:\(\text{Users\(\text{Y}\)} \)
```

Gitで日本語ファイルが文字化けするのを防ぐために、以下のコマンドを入力する。

git config --global core.quotepath false



⑦SSH鍵の生成

ユーザーアカウントフォルダ内に、「.ssh」フォルダを作成する。

以下のコマンドを実行する。

cd C:\footnote{Users}\footnote{\text{xxxxx}}\footnote{\text{mkdir .ssh}}

下記エラーは既にsshフォルダがあるというもの。通常は出ないエラーのため問題ない

.sshフォルダ内に、公開鍵、秘密鍵を生成する。 以下のコマンドを実行する。

cd .ssh

ssh-keygen -t rsa -f id_rsa_for_gitlab -b 4096 -C "admin@example.com"

すると、パスワードの入力を促される。

メッセージが表示され、SSH鍵の生成が完了する。

コマンドプロンプトにて以下のコマンドを入力して、.ssh内に「config」というファイルを作成する。

type nul > config

echo Host localhost >> config

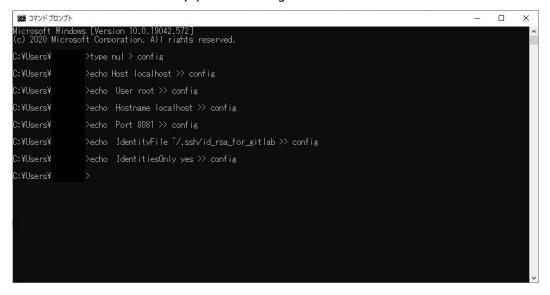
echo User root >> config

echo Hostname localhost >> config

echo Port 8081 >> config

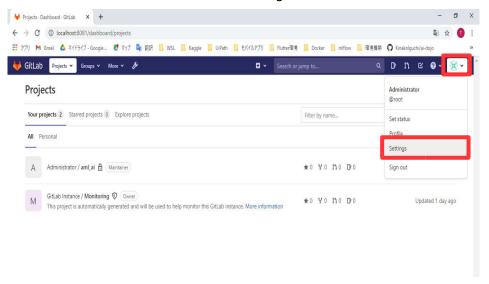
echo IdentityFile ~/.ssh/id_rsa_for_gitlab >> config

echo IdentitiesOnly yes >> config

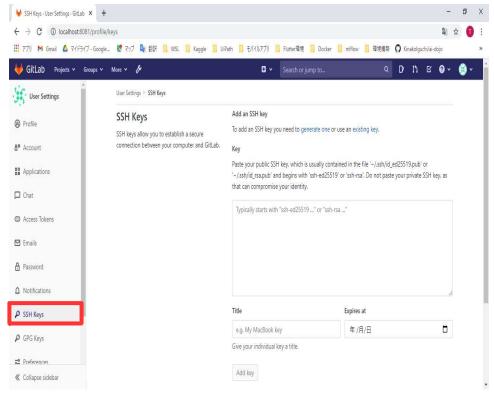


®GitLabに公開鍵を登録

右端のユーザーアイコンのプルダウンから「settings」を押下



左のメニューにある「SSH Keys」をクリック



公開鍵「id_rsa_for_gitlab.pub」の番号は、コンソール画面で以下のコマンドで中身を確認。 cat id_rsa.pub

表示された「ssh-rsa」から始まる番号をコピペする。

「Title」のところは任意のもの。ここでは秘密鍵のファイル名「id_rsa_for_gitlab」とする。

